

# くめなん ギカイ

News from Kumenan Town Council No. 92

久米南町議会だより 令和7年12月議会



# 一般質問

# 町政を問う

南 直樹 ..... P 3

- ☆ 1. 有害鳥獣対策について
- ☆ 2. 保育園について

河原重義 ..... P 4

- ☆ 1. リチウムイオン電池の廃棄及び回収について
- ☆ 2. 鳥インフルエンザへの対応、対策について
- ☆ 3. ワイヤメッシュ柵の維持管理、及びクマ・イノシシ緊急銃猟について
- ☆ 4. 児童生徒の安全のためのスクールゾーンの設置及び通学路の整備について
- 5. 文化・歴史資料の管理状況及び今後の整理・保管の方針について

立石祐一 ..... P 5

- ☆ 1. 第2期久米南町創生総合戦略について

近藤賢司 ..... P 6

- 1. 小学校統合建設計画について
- 2. 小学校統合に伴う児童生徒の通学の方法について
- 3. 地域おこし協力隊の活動について
- 4. 新規就農のための施策について
- ☆ 5. HP・行政手続きのAI活用について
- 6. ふるさと納税の増加を図る取り組みについて
- ☆ 7. 農業支援について
- 8. 新庁舎北側駐車場について
- 9. 美しい森の管理と活用について
- 10. 町道の管理について

小坂 守 ..... P 7

- ☆ 1. 教育環境について
- ☆ 2. 歩道橋について
- ☆ 3. 水道断水時の告知について
- 4. 防災について

政廣幹夫 ..... P 8

- ☆ 1. 会長の片山町長は社協訪問介護事業廃止を白紙に戻して再検討を
- 2. 在職中の会計年度任用職員の職は募集廃止を求める
- 3. 庁舎等複合施設周辺整備工事で縁石ブロック施工等の不明点説明を
- 4. 町はデマンド事業者と福渡病院便運行改善の協議を
- 5. 町立小中学校で給食を食べない児童生徒らにも公平な子育て支援を
- 6. 上神目・水道管破裂事故への町の対応に問題は無かったのか

光元一郎 ..... P 9

- ☆ 1. 保育園について
- ☆ 2. 駐車場について
- ☆ 3. 基金について
- ☆ 4. 小中学生の体力は

※ 議会だよりに掲載している質問を☆で表記しています。

※ 質問内容及び答弁は議員自らが作成、議員の責任で掲載しています。

# 質問 町の今後の方針について



南 直樹 議員

## 一般質問

**有害鳥獣対策について**

**問** 鳥獣被害の現状について伺いたい。

**産業振興課長** 水稻共済加入

分では、令和4年2・5ヘクタール、令和5年2・63ヘクタール、令和6年4ヘクタールが被害を受け、加害獣は約、イノシシ90%、シカ10%である。

**問** 主な取り組み、実施内容、効果と評価について伺いたい。

**産業振興課長** 猟友会と連携し、駆除や巻狩（まきがり）等に取り組んでいる。

また、自治会等が実施するワイヤーメッシュ柵の整備に関わる、資材への補助等を実施している。

一定の効果があつたと評価しているが、防護柵のない田畑に被害が移ったり、道路や河川からの侵入により個別対応が増えたりしている。

**問** 重点対策、担い手確保等、捕獲体制の強化について、今後の方針を伺いたい。

**産業振興課長** 重点対策は、

侵入経路を押さえ、設置補助を引き続き行っていく。

捕獲体制の強化については、県の新規狩猟免許及び所持許可に関わる補助制度を活用し、担い手確保に努める。

また、地域ぐるみによる取り組みの周知をお願いしたい。

**問** 新技術の導入・支援強化について検討されているのか。

**産業振興課長** 新技術の導入は、猟友会と協議し検討したい。各地域での話し合いの場を活用し、情報共有をおこなうと共に、猟友会からの情報を各地域に伝えていきたい。

捕獲檻・超音波害獣撃退器に対し、補助をおこなっている。

**保育園の運営方針について**

**問** 保育園の将来的な運営体制についてどのような検討をしているのか。

**保健福祉課長** 令和6年6月定例会において、統合に向けた協議には至っていないとの答弁

だったが、現在も統合に向けた協議はおこなっていない。

**問** 小学校の統合に向け、保育園の配置・運営形態との連携について検討されているのか。

機能集約・通園距離・送迎負担の課題整理・施設整備の可能性についても伺いたい。

**保健福祉課長** 今後、保育園の統合に向けた協議に入れば、検討していく必要があると考える。

**問** 保護者や地域住民への説明や意見聴取の時期、実施の方法について伺いたい。

**保健福祉課長** 今後、協議に入ったら、速やかに保護者等に説明したいと考えている。

**問** 今後どのようなタイミングで検討を進めるのか伺いたい。

**保健福祉課長** 園での運営を継続していくように努めているが、子供の数が減少傾向にあり、状況を鑑み進めていくことになると考えている。

# 質問 持続可能な町づくりについて



河原重義 議員

## 一般質問

「風船」 クリスマス 楽しみすぎで ねむれない 月本 将李

リチウムイオン電池等適正処理

**問** リチウムイオン電池・バッテリーによる火災が全国で発生している。本町での対応について聞く。

**税務住民課長**

廃棄物の収集運搬及び処分は、岡山市と共同処理しており、リチウムイオン電池は、衛生施設組合では収集出来ないものと分類し、電気店・販売店等でのリサイクル回収の利用をお願いしている。周知については、ガイドブックによるもの他、電気店での個別の問合せにより対応してもらっている。

**問**

周知の徹底が重要だ。様々な媒体を活用し、知らせていくことが大切だ。自治体ごとで回収方法も違うとのことだが、今後どのように取り組んでいくのか。

**税務住民課長**

他市町村の先進事例を参考に、分別収集を分かりやすく排出しやすくするなど、早い段階で実施していく予

定。

鳥インフルエンザの予防と対策

**問** 今シーズンも、各地で鳥インフルエンザの発生が見られる。町内にも養鶏業者があり、早期に対応策を考えておく必要がある。

**産業振興課長**

防疫対策について、国の指針に基づいて県、近隣市町村と対応していく。また、県の実施する防疫演習への参加、マニュアル等の点検確認をおこなうなど有事に備えている。

有害鳥獣対策状況と新たな事案発生時の対応

**問** ワイヤーマッシュ柵の設置・管理状況はどの様になっているか。設置個所の現状の把握できているか。

草木に覆われてメッシュ柵の効果が発揮出来なくなっている所も見受けられる。指導はできているか。

**産業振興課長**

協定集落や多面的組織を通じ指導をしている。

**問** 本町での熊の出没事案の確認と、事案が発生した際の対応について。緊急銃猟も含め、マニュアルは作成しているか。

**産業振興課長**

緊急銃猟については、現在進められている市の情報等に注視しながら本町の準備を進めている。警察、猟友会、行政との連携が不可欠となる。様々なことを想定しながら、訓練も行っていく。

スクールゾーンの再点検を

**問** 小学校の統合に際して、子供達の通学経路整備が必要だ。安全安心のためのスクールゾーンの再設置も必要ではないか。

**教育課長**

警察・道路管理者・学校・教育委員会などで構成している「通学路の交通安全プログラム」に基づき一体的に取り組んでいる。現地調査や、危険個所の洗出しに努める。引き続き児童生徒の安全を最優先に、取り組んでいく。

# 質問

## 第2期久米南町創生総合戦略 の推進について



### 一般質問

立石祐一 議員

**問** 「町の取り組むべき課題」として、国道、各駅に本町をPRする情報が乏しい。恵まれた交通アクセスが強みでも、日常的に情報が入る環境が町の認知度を向上させる上で非常に重要と考えるが、町長のご所見を伺う。

**町長** 屋外広告物や様々な広報媒体を活用し、本町の魅力発信に努めていく。また、町外の方へのSNSによる情報発信も大切だと考える。

**産業振興課長** テレビ、情報誌などのメディアを活用し、町の魅力を県内外に発信している。東京や大阪での移住相談会でも、本町の農業や町の住みやすさについてPRを行っている。

**問** 「地域資源を活かした学習教育」の一環として「久米南学」がある。新聞報道では、令和8年1月に東京で開催される移住相談会の会場で中学生が作成した久米南町のPR動画が上映されるとあった。東京だけでなく、

道の駅や役場、町ホームページで動画を閲覧できるようにするなど、経費をかけない取り組みも可能と考える。取り組みを続けることで、学生にとって良い学びとなり、久米南町の良さを改めて実感できる学習環境が醸成されると考える。先輩の姿を学ぶことでより洗練されていくと考えるが、久米南学の効果と今後の可能性について教育長のご所見を伺う。

**教育長** 地域に根差した学びを通じて、郷土の歴史や文化等を自分事として考える教育を重視し、中学校で久米南学を推進している。中学生が作成した本町のPR動画も、移住相談会の場で上映される予定。生徒の学びが「まちの魅力発信」という形になりつつある。こうした効果は、経費をかけずとも、町の強み、魅力を、町内外に届ける効果があり、子供たちの主体的な学びが地域に貢献する好事例の1つであると考えている。ま

た、成果物の完成だけでなく、調査発表に至る過程を通じて、考える力、コミュニケーション力、共同して成果を生み出す力など、今後の社会で求められる力を育む効果があると考えている。加えて、生徒自身が地域の魅力を再確認することにより、郷土への愛着や誇りを持ち、地域を支える人材の育成にも繋がると考えている。今後は、久米南学の学びがより深く、充実した活動となるよう、小学校の段階から進めていきたい。学校と地域が連携し、子供たちの学びが次の世代へ受け継がれ、地域を知り、そして地域に貢献する。そうした持続的な学習環境の醸成に取り組んで参りたい。

「風船」 みんなでね ゆうえんちまで わくわくだ 山本 菜月



# 質問

## 本町のホームページへの AI導入と地域計画の行政 施策への反映を求める



### 一般質問

近藤賢司 議員

「風船」 サッカーの 試合がはじまる もうすぐだ 片山琥太郎

AI活用について

**問** 行政手続きについてのAI導入について、進捗状況を伺う。

**総務企画課長**

AIの導入については、ホームページ上での

導入ではなく、職場内で職員だけが活用するための導入を遅くとも年内に行う。

**問** 地域住民、町民が活用するためのAI導入は考えていないのか。

**総務企画課長**

職員が正しい情報を、そのAIに読み込ませなければならぬため、まずは職員を対象としている。

**問** 当面の予定、見通しは。

**総務企画課長**

具体的なスケジュールは決めていない。

**問** 町民が利用できるような早急な導入を求める。隣町である美咲町のホームページはキーワードを入れれば、該当する手続きなど情報が得られ、さらに、その中から自分の知りたい情報へとアクセスしていくことができ。本町でも早急に導入を図っ

ていただきたい。

農業支援について

**問** 「地域計画」を今後の農業と持続可能な地域づくりにどう活かすか伺う。

**産業振興課長**

地域計画については、町内32地区で策定をいただいている。将来、地域の農地を誰が利用し、どう取りまとめしていくか、農地を含め、地域農業をどのように発展維持していくかを、地域の関係者が一体となって話し合っていたら、これまで地域の方々の努力で守り続けた農地を着実に引き継いでいってほしい。

**問** 32地域すべての地域計画を拝見した。その中で、将来の明るい兆しが見える地域は2地域のみであった。他の30地域は、多くの課題に悩んでいる実態が浮き彫りになっている。ある地域では、「農地の現状は、区内を貫流する河川に沿った集落では、狭小かつ不整形。一方、上部の山腹に点在する集落では、

急峻な棚田となっている。いずれも大型機械の使用は全く不可能で、耕作の省力化は望むべくもない。また、地区民の高齢化も進み、全農地の半分近くの耕作者が70歳以上となっている。十年後には、これら農地の大半が『耕作放棄地』となることが危惧される。」とある。こういった表現が、ほとんどの地域で現状と課題として出されている。

全ての地域に共通する課題は①高齢化 ②担い手不足と後継者の不在 ③農地の灌漑設備の管理困難 ④獣害による意欲喪失、の4点である。①の高齢化は避けられないが、あとの3つの課題に対しては、行政施策によって変えていくことができる。各地域の悲鳴とも捉えられる、この実態をしっかりと受けとめて、対策を立てていただきたい。もちろん、私も議員の一人として、地域振興、農業振興のための提案を行い、動いていきたい。

# 質問 教育環境についてほか



小坂 守 議員

## 一般質問

第2次久米南町教育振興基本計画について

**問** 第2次久米南町教育振興基本計画は令和3年度から12年度までの10年間だ。前半期と後半期の5年ごとに分け、取り組むべき具体的方針を示すこととなっており、7年度で前半期が終了するが、後半期の取り組むべき内容については作成されているのか伺いたい。

**教育課長** 第2次久米南町教育振興基本計画の後半期の具体的な方針や取り組みについては、令和9年度に予定している。新小学校の開校に向けて、教育環境、学習体制や地域連携が大きく変わる大切な時期となり、児童生徒の学びの継続性や、地域とともにある学校づくりなどを十分に踏まえ、新小学校の開校準備と並行して検討することが必要であると考え、令和8年度より、久米南町教育振興基本計画策定委員会の学識経験者、学校関係者、PTAなどの意見を

いただきながら、後半期に取り組むべき具体的な方針などを定めて参りたいと考えている。

**特別支援を必要とする生徒児童** について

**問** 支援を必要とする生徒児童数・現状の取り組み支援員数・支援員は確保されているのか伺いたい。

**教育課長** 支援を必要とする児童生徒は13名。現状の取り組みは、学校に特別支援学校を設け、担任を配置して授業を実施、授業は担任を中心に、児童生徒に応じた指導に努めて、学習内容の理解力や学習への集中力などに配慮した指導や支援を行っている。支援員については、配置も確保もしていない。

**神目地内の歩道橋について**

**問** 神目地内の歩道橋は、改修、撤去などの話があったが結論は。また改修、撤去の時期が分かっているのか伺いたい。

**建設水道課長** 国土交通省、岡山国道事務所が劣化の激しい

箇所への補修実施を予定。時期は令和8年6月末までの期間に実施。撤去については、小学校統合後、関係機関と協議を行う予定とし、具体的な時期は未定。

**水道断水時の告知について**

**問** 断水時の告知方法だが、告知放送のみでは周知が徹底できないと思う。放送のみでなく、断水地区に広報車を走らせて、告知は出来ないか伺いたい。

**建設水道課長** 断水の周知方法については、防災行政無線による放送を断水時に2回、復旧時に1回、メール及びLINEを断水時と復旧時に、それぞれ1回と、複数手段を組み合わせて情報発信を実施。メール、LINEは登録が必要であり、周知の徹底には課題があることは認識している。町としては、現

有の広報手段の中で、できる限りの多重化、迅速化を図ることが重要と考えており、事故発生時の広報車の使用など、情報伝達手段の強化に取り組んでいく。

# 質問

## 白紙に戻し再検討を 社協の訪問介護事業廃止は



議員 夫幹廣政

### 一般質問

「風船」 発表会 あと一週間 わくわくだ 月本 凌侑

**問** 町社協会長である片山町長に、社協の訪問介護事業を来年度から廃止することは、白紙に戻し再検討を求めたい。具体的に①④を聞く。①非常に重要な問題だが、なぜ議会にも説明せず社協だけで廃止を決定したのか。②廃止の具体的な理由は何か。例えば、赤字であれば、その推移を示したり、客観的に納得できる説明が必要ではないか。③社協の訪問介護事業の廃止は、本町の介護保険事業にどのような影響があると考えているか。④訪問介護事業の廃止後、従事している職員の処遇はどう考えているか。

**町長** ①あくまで社協は民間団体で、運営は定款に定められ、業務執行の決定や収益事業に関する重要な事項などの決議は、理事会や評議委員会が行い、その中で廃止ということになった。②訪問介護事業の廃止決定の理由だが、利用者の減少で介護報酬が減ったことが大きい要因だ。

ここ数年は、基金からの繰り入れが多額になり、このままでは社協そのものが、運営に支障をきたしかねないとの判断から廃止に至った。③訪問介護事業の廃止は、利用の方やそのご家族には、今まで慣れ親しんだヘルパーが交代するなど、ご心配やご迷惑をおかけするが、町の介護保険事業には特段影響ないと考えている。④現在、訪問介護事業に従事する職員2名の廃止後の処遇は、まだ結論に至っていない。引き続き、当該職員とも協議を重ねて、結論を出していきたい。

**問** 政府が訪問介護の報酬を切り下げ、特に地方では経営が成り立たない。しかし、町内でも個人の方が踏ん張って事業継続している。どうすれば社協が事業継続できるのか考えるべきだ。そういう点で非常に残念な決定だ。当然、社協は定款により決定すればよいが、社協は町民に寄付を募ったり、この議会でも

保健福祉センターの指定管理者にして事実上の補助をする。補助金も出している。町長が会長になってきているのだから町民に対して詳しく説明すべきではないのか。

**町長** あくまでも民間の非営利団体であり、議会に説明は必要ないと考える。理事会なり、評議員会の中でも十分説明され議論は尽くされたと思っている。**問** こういう経営状態だったと、町長が言われることを裏付けるもので説明を尽くすべき。再建はなぜできないのか、全く分からない。藪から棒に廃止すると言っている。



# 質問 保育園について



光元一郎 議員

## 一般質問

### 保育園について

**問** 出生数を見ると、令和元年度が21人、2年度21人、3年度18人、4年度23人、5年度17人。6年度10人、0歳児から5歳児まで合わせて、合計110人に對し、3園合わせて、現在89人が登園すると聞いた。令和7年度の出生予定数が12人なので、8年度の対象者は101人となる。以後も対象者は100人を超えることはなく、しばらく80から90人台が予定される。これを3園で分けると、1園当たりの人数は減少し、1学年当たりの人数は少なくなり、小学校でいうところの複式保育が行われることとなる。

この年代の子どもたちは1年で著しく成長する。4月生まれと、3月生まれで、ほぼ1歳違い、複式になると2歳差になる。体力的にも学力的にも大きな差があり、上の子に合わせると、下の子はついていけない。下の子に合わせると、上の子は物足

りないのが現状ではないか。

保護者の負担は増えると思うが、子どもたちの成長を考えると統合は必要ではないか。

1年や2年で統合できることではなく、早い時期からの検討を要望する。

### 駐車場について

**問** 庁舎南側の駐車場の区画線が消えている。引き直すべきでは。

### 総務企画課長

南側駐車場は職員駐車場として利用していたが、利用者も多いため、来庁者の駐車場として利用している。庁舎と駐車場の間の町道の改良を予定しており、併せて必要な修繕を行う。

### 土地改良基金について

**問** 土地改良基金は残高が3億を越し、塩漬け状態にある。企業誘致の土地造成や分譲地の造成をしてはどうか。

分譲地については神目が残っているが、弓削では早期に完売し、誕生寺については長い期間

行われていない。活用を望む。

**産業振興課長** 今後の社会情勢を注視しながら検討する。

### 小中学生の体力について

**問** 10月に、5、6年生を対象とした陸上記録会が開かれたが、全国や県との比較はどうだったか。現在の子どもの多くはスクールバスで登校しており、また帰ってもテレビやゲームで、運動する機会が減り、体力の低下が心配される。

学校教育のなかで体力の向上に努めてほしい。

### 教育課長

毎年12月中旬から下旬にかけて発表されるが、現時点では発表されていない。

昨年度は小学校5年男子は全国、県を下回るが、5年女子、中学2年男女では上回る結果が出ていた。

子どもの体力の状況を把握・分析し、指導などの改善を図りたい。

### 新春のごあいさつ 久米南町議会

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、日頃より久米南町議会の活動に対し、深いご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国的に人口減少や少子高齢化の進行、物価高騰など、急激な社会変動がおきました。本町においても、同様の状況の中、新しい庁舎・コミュニティセンターの完成や新小学校の建設開始など新しい町の形へ向け、大きな変化が始まった一年となりました。

そのような状況の中、久米南町議会といたしましては、議会の役割と責任を自覚し、開かれた議会運営と分かりやすい情報発信に努め、誰もが安心して暮らし続けられる久米南町の実現に向け、議員一同力を合わせて取り組んでまいります。

また、お聞きした町民のみなさまの声を町政に的確に反映させるとともに、活発な議論を通じて町の様々な課題解決に取り組んでまいりたいと思います。

4月には町議会議員の改選が行われますが、ふるさと発展のため、大志ある多くの皆さんに立候補いただくことを願っています。

結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新春のご挨拶といたします。

## 町村議会議長全国大会に参加

11月12日、NHKホール（東京都）において開催された町村議会議長全国大会に、議長が参加しました。



本大会は、全国の町村

議会議長が一堂に会し、地方自治の充実・強化や町村行政が抱える諸課題についての全国的要望の決議を行う重要な大会で、災害復旧や地方創生の推進、議員のなり手不足対策などに関連する令和8年度国の予算編成及び施策に対するさまざま要望などが決議されました。

## 高知県大豊町・徳島県神山町を視察

11月19日から20日、議員全員と町執行部が参加し、高知県大豊町および徳島県神山町を訪問し、視察研修を行いました。

大豊町では、廃校を活用した施設を見学し、公共施設の活用について研修を行いました。また、神山町では、地域アプリ

やふるさと納税の取り組みなど、先進的な取り組みについて説明を受け、地域活性化につながる実践事例に触れました。



## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

恒例の神目・竜山元旦マラソン、二十歳の集いなどが開催され、元気がいっぱいの中、令和8年がスタートしました。今年60年に一度の丙午の年で、「火の馬」のエネルギーが重なり、情熱的でパワフル、大きな変化と飛躍のチャンスとされたいま。私達も午年にちなんで頑張りますのでよろしくお願いたします。

本年も皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

(小坂 守)



### 議会広報編集委員会

立石祐一 ・ 近藤賢司  
小坂 守 ・ 河原重義

久米南町議会だより第92号（令和8年2月16日発行）

【編集】議会広報編集委員会 【発行】岡山県久米南町議会  
岡山県久米郡久米南町下弓削502-1 Ⅸ086-728-2112

